社会教育士フォローアップ研修（文部科学省主催）

# 報告「社会教育士『大航海時代』の航海術 ～資格取得後のキャリアデザイン～（全12回）」

2026年3月9日

サステナブルタウン SUSTAINABLE TOWN

社会教育士

- ✓ あらゆる分野の実践で必ず活かせる社会教育の知見を共有
- ✓ 社会教育の圧倒的実感と創造的実装を学びほぐし合い
- ✓ 社会教育士としての各分野でのスタートアップを応援し合うネットワーク

| 回 | テーマ ❶ | テーマ ❷ | テーマ ❸ |
|---|---|---|---|
| 1 | 学びほぐし（アンラーン論） | 目的・目標の整理方法 | ソーシャルな情報発信 |
| 2 | つながりの4つの意味 | 主体性を育むコミュニケーション | 良質なつながりの主成分＝主体性 |
| 3 | 社会教育士の品位・ブランディング | パターナリズム | NGワード |
| 4 | 社会教育の公理 | 事例紹介ピッチ | 目的・目標ワークショップ |
| 5 | 問題と課題の整理方法 | 事例から問題・原因・課題の分析 | 目標達成力＜問題解決力＜課題設定力 |
| 6 | アウトプット・アウトカムの整理方法 | 成果の拾い方 | 単発講座のプログラム・デザイン |
| 7 | 連続講座のプログラム・デザイン | 団体の立上げ方 | 創発的協働関係を育むコーディネート |
| 8 | 課題設定力ワークショップ | 課題の意志 | パネル・ディスカッションのやり方 |
| 9 | プレゼンテーション力 | 会場づくり | プロフェッショナリズム |
| 10 | 社会教育の越境（越教） | リレー講演のやり方 | 社会教育無敵論 |
| 11 | イベントのUD化 | 社会起業・起業家精神 | ソーシャル・デザイン |
| 12 | パーパス | ソーシャル・チャレンジ | コレクティブ・インパクト |

「社会教育士」の勉強をしましたが、正直なところ、その価値が生かせていませんでした。どう生かしていったらよいのか、どう活動していけるのか、何から始めたらいいのかなどと考えていました。

社会教育という固定された概念が資格取得への学習時以来ずっと持っていたのですが、今回の研修を通してその概念が打破された。まさに学びほぐしだった。

「課題解決」という言葉が安易に使われているが、問題と課題の違い、目的と目標の違いなど、1つ1つの言葉をどう捉えて使うのか、きちんと認識することで、向き合い方、取り組み方が違うことがよくわかった。

本研修を受講し、まさに「目から鱗」状態で、自身が向学から様々な講座や対話などに参加をしていながらも、当事者側の視点に立てていなかったことを痛感しました。今回の学びを通して、一番最善な方法が何かを知った以上、具体的に実践をしていき、どうしても前例踏襲から硬直化している現状を打破していきたいと思います。

社会教育のプロになるということはどういうことかということを考えさせられました。社会教育士は様々なフィールドの方がいると思いますし、その方たちがプロとして力を発揮していければ、相対的に地域の学びの力、問題解決力は高まるだろうということを感じました。

登壇される方の魅力についても言及したいと思います。「あのような振る舞いがいいな」「こういう時にこういえばいいな」「その質問が的確だな」などとみなさんのご発言や姿勢、そしてお人柄が素晴らしいと感じました。これは連続講座だからこそ得られる感覚であり、毎回の講義が重なっていき、その織りなす模様に感じ入っています。

具体的で実用的なテクニックが満載となり驚きました。正直全てのパワーポイント資料を印刷したくぐらいです。スライド資料を自分なりにまとめ直して資料化して使っていきたいです。書籍化希望です。

**ポイント❶ フォローアップ研修の既存スタンダードの向上**
**ポイント❷ 社会教育士としての真に有効な学習テーマと学び合い方の提案**
**ポイント❸「社会教育」そのもののリ・スタートアップという新たな気運を醸成**




